

抗原検査の実施および大会への参加制限について

抗原検査の実施についてお知らせします。

新型コロナウイルス感染拡大の防止及び安全・安心に大会を開催するため、来場するすべての選手団を対象に抗原検査を実施いたします。下記より実施方法についてご確認ください。

記

<抗原検査>

○検査対象者 全ての選手、監督・引率者、外部指導者、選手団役員、選手団スキー連盟関係

○検査方法

1 月 29 日（土）

- ・選手団またはセクション代表者は 14 時（午後 2 時）以降に大会事務局（村公民館）で検査キットを受け取り、宿舎で検査をしてください。
※代表者には受け取る個数と検査対象者を報告していただきます。
- ・結果の報告は、所定の報告用紙に必要事項を記入の上、大会事務局に提出する。（持参または【2013@vill.nozawaonsen.nagano.jp】へメール送信）
- ・陽性反応が出た場合は至急、大会事務局に一報を入れ、指示を仰いでください。

1 月 30 日（日）以降

- ・来村時、宿舎入りする前に大会事務局（村公民館）にて検査キットを受け取り、検査を受けてください。
- ・検査結果が出たら、速やかに大会事務局に報告してください。
- ・陽性反応が出た場合は、指示を仰いでください。

※検査の判定結果は、必ず複数人の目で確認し合い、選手については引率者が必ず確認をお願いします。

○入場許可 ID の発行について

- ・検査結果（陰性）が報告された方に入場許可 ID を発行します。

<大会への制限>

○来会受付時

- (1) 発熱や風邪の症状の有無、当日の検温記録を確認し、体調不良者または症状（例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）が確認された者については、大会参加を取りやめ、村内・近隣市町村の医療機関を受診する。その後、速やかに帰宅する。（すぐに帰宅できない場合は、宿舎に用意された個室で他の選手や監督・コーチ等と接触がないように待機する。）記入の不備については、不足項目の確認（検温）を行う。

○大会期間中の対応

- (1) 各都道府県の責任者または監督・引率者等は、競技会場での活動場面および宿泊施設での生活場面において、こまめに選手の体調不良の有無を確認し、選手の健康観察を徹底する。
- (2) 体調に異常が認められた場合は、各都道府県の責任者または監督・引率者等は、医療・救護要項に則り健康観察記録票【様式①】を記入し、速やかに大会事務局に報告する。（持参または FAX 送信）また、受診が必要な場合は受診先の確認や移動の手配、所属校や保護者への連絡を行い、受診後は病院受診報告書【様式②】を大会事務局に提出する。（持参または FAX 送信）
- (3) 選手や監督・引率者、外部指導者（コーチ）に風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）や倦怠感、味覚嗅覚の異常など新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合、その選手や監督・引率者、外部指導者（コーチ）の大会参加を認めない。該当者は、村内・近隣市町村の医療機関を受診し、その後、速やかに帰宅する。（すぐに帰宅できない場合は、宿舎に用意された個室で他の選手や監督・コーチ等と接触がないように待機する。）
- (4) 選手や監督・引率者、外部指導者（コーチ）に上記（3）のような症状が出た場合、当該者の所属する選手団および同レースに出場した選手や同会場にいた監督・引率者、外部指導者（コーチ）の中で、下記に該当する者の以降の大会参加を認めない。

感染が疑われる者の感染可能期間内（発症日の2日前から、診断後に隔離開始されるまでの間）に感染が疑われる者と接触した者のうち、次の1または2に該当する者

1. 活動場面を問わず、手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、マスク（不織布マスクを推奨）をしていないか適切に着用せず15分以上接触があった者
※特にマスクを外す場面（食事、入浴、睡眠時等）では注意する。
2. 感染が疑われる者の気道分泌液（鼻水や痰、唾液など）、咳やくしゃみで生じた飛沫などに直接接触した可能性が高い者

- (5) 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、監督・引率者や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡がとれる体制を再度確認しておくこと。

【大会事務局】

〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷 9167 番地 野沢温泉村公民館内
TEL : 0269-67-0708 FAX : 0269-85-2618
検査結果報告提出先 : 2013@vill.nozawaonsen.nagano.jp

以上